

(別紙1) ふくしまゼロカーボンアワード2025(学校版)受賞校一覧

賞	部門	受賞校	受賞理由
最優秀賞	保育施設 幼稚園	学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園 (郡山市)	<ul style="list-style-type: none"> 給食の週間残食量を記録し、フードロス削減の意識を高める点や、SDGsにつながる取組をビンゴ形式で周知するなど、創意工夫ある独自の取組が高く評価された。 雨水の再利用による節水や、外遊びの際の熱中症対策に加え、チラシや裏紙を再利用した遊びの実践など、昨年度から更に取組を発展させている点が高く評価された。
	小学校	柳津町立西山小学校 (柳津町)	<ul style="list-style-type: none"> 児童会が中心となってポスターを作成し、節電・節水やフードロス削減の取組を全校生に呼びかけるなど、児童が主体となった活動の姿勢が高く評価された。 地元の柳津西山発電所を活用した自然エネルギー学習や、フィールドワークを通じた自然環境学習、地域での環境保全活動の実践など、地域資源を活かした取組が高く評価された。
	中学校	猪苗代町立猪苗代中学校 (猪苗代町)	<ul style="list-style-type: none"> 節電・節水の見える化や、猪苗代湖天神浜で回収した水草の肥料化、全学年にわたる環境教育、地域の祭りでの情報発信、学校の樹木を利用したSDGsバッジづくりなど、地域の資源を活用しながら、様々な環境保全活動を工夫して実践している点が高く評価された。 SDGs委員会の新設、修学旅行でSDGsについて考える機会の設定等、昨年度から更に取組を発展させている点が高く評価された。
	高等学校	県立平工業高等学校 (いわき市)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境保全活動を社会貢献・国際貢献へとつなげている点に加え、活動内容を数値化して「見える化」している点が高く評価された。特に国際貢献活動については、他校への横展開が期待される取組と評価された。 四半世紀にわたる継続的な活動、地域や企業と連携した取組が高く評価された。
優秀賞	保育施設 幼稚園	会津美里町立本郷こども園 (会津美里町)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と連携し、自然環境、生き物について学ぶ取組に加え、野菜の苗植えなどを通して自然と関わり触れ合うことの大切さを、楽しみながら学んでいる点が高く評価された。 クリーンアップ作戦など、園児や保護者だけでなく地域が一体となって取り組む環境保全活動が高く評価された。
	小学校	県立聴覚支援学校福島校 (福島市)	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとに、再生紙や牛乳パックを活用した作品づくり、グリーンカーテンづくり、野菜の栽培など、それぞれの発達段階に応じた環境学習に取り組み、持続可能な社会づくりへの関心を高めている点が高く評価された。 掲示板の活用による熱中症予防の呼びかけや、風水害を想定した避難訓練の実施など、気候変動に伴う災害に備える取組が高く評価された。
		喜多方市立第三小学校 (喜多方市)	<ul style="list-style-type: none"> 節電・節水の呼びかけだけでなく、児童が毎月の電気・水道使用量をエコチェック表に記録して節約状況を「見える化」するなど、データに基づく実践的な取組をしている点が高く評価された。 緑の少年団が花壇整備やプランターでの花栽培に取り組み、環境保全の意識を高めるとともに、地域企業等へのプランター寄附を通して地域貢献をしている点が高く評価された。

賞	部門	受賞校	受賞理由
	中学校	双葉町立双葉中学校 (いわき市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節電・節水の徹底やマイ箸の推進、海外のリサイクル事例を取り入れた環境学習、SDGs を考えるコーナーの設置など、多様な取組を工夫して実践している点が高く評価された。 ○ 暑さ指数（WBGT）を表示するボードを体育館等に設置し、体育や部活動の際に必ずチェックした上で活動を行うなど、実効性ある熱中症対策に取り組んでいる点が高く評価された。
		喜多方市立山都中学校 (喜多方市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の生態系を活かし環境負荷を低減する無灌水栽培を、地域の生産者を招いて体験する独自の環境学習を実施している点が高く評価された。 ○ エコキャップ回収、PTA 親子資源回収など、昨年度に加えて更なる取組の拡充が図られている点が高く評価された。
	高等学校	県立あさか開成高等学校 (郡山市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下足用ビニール袋の配付を廃止し、家庭から回収した紙袋での代用する取組に加え、猪苗代湖岸のシーグラスを用いたアクセサリ作りなど、地域イベントへの出展による環境保全の啓発活動を行うなど、創意工夫による幅広い取組を実施している点が高く評価された。 ○ 各取組に「○○○action（例：「自分でできる Action」）」という標語をつけて、それぞれの主体の行動を促す工夫をしている点が高く評価された。